



『あける』  
はらぺこめがね／著  
佼成出版社 ¥1,300 (税別)

「あけよう あけよう」。待ちきれない気持ちでふたを「ばかっ」と開けると、おいしそうなお弁当。次々にふたや包み紙、箱などを効果音とともに開けていく。おいしいものが出てくる期待感を、迫力のある絵と文字で表現している。



『うかぶかな？ しずむかな？』  
川村康文／文 遠藤宏／写真  
岩崎書店 ¥1,400 (税別)

水を入れた水槽に、おもちゃや粘土、ペットボトルを入れると、水に浮かぶのか沈むのか、予想しながら読む科学絵本。形を変えたり中身を減らすと結果も変わり……。次はどうなるのか、ページをめくるたびに想像力を刺激する。



『こしたんたん』  
りとうようい／作  
絵本館 ¥1,400 (税別)

こしたんたんと獲物を狙う虎や、狙われた動物たちの表情も楽しく笑いを誘う。テンポが良く繰り返しも多いので「虎視眈々」の意味を知らなくても自然と内容を理解できる。虎以外の動物もじっくり見ると、違う発見があり楽しい。



『ごちそうさま』  
accototo／さく  
大日本図書 ¥1,300 (税別)

今日のメニューはオムライスと味噌汁。材料はじいじが育てた人参としいたけ、ばあばが世話した鶏の卵と、大豆で作った味噌。食物を大切に育ててくれたことに感謝し、おいしく頂く様子を描く食育絵本。「しいじ ばあば ごちそうさま」。



『なにができる？』  
キボリノコンノ／さく  
PHP研究所 ¥1,400 (税別)

木材を削って彫って、色を塗り、出来上がったのは、何と「ゼリー」!? 木材から食べ物本物と見間違えほど精巧に作られていく。ページが進むにつれ使用される木材の数も増え、組み合わせで何ができるか想像が膨らむ絵本。



『はんぶんこ』  
杜今日子／さく  
福音館書店 ¥900 (税別)

ドーナツ、やきいも、おにぎりなどを「はんぶんこ」して、一緒に「いただきます」。はんぶんこすると、形が変わり、中身が見えておいしそう。おいしそうな食べ物の絵が魅力的な赤ちゃん向け絵本。



『ぼくはイーサヨまかせていーさよ』  
こいでなつこ／著  
山梨放送 ¥1,400 (税別)

紫色のぶどうのイーサヨは、友だちが欲しいのに恥ずかしくて声を掛けられない。しかし、ナスや玉ねぎが困っているのを見て、不思議な歌を歌い勇気を出し、野菜たちを助け成長していく。山梨の方言や、特産の野菜や果物も登場し楽しめる。



『ゆびのすうじへーんしん』  
齋藤陽道／作 あわい／絵  
アリス館 ¥1,300 (税別)

「いちと いちで なーに？ あたまに つのをつくろう えっへん えへん！ こわーい かおの…」手話の数字表現が、鬼や忍者などいろいろなものに変身する手あそびを紹介した絵本。自分だけの表現を見つけ、親子一緒に楽しめる。

## その他のおすすめの本

### 『おじいちゃんのくしゃみ』

阿部結／作 福音館書店 ¥1,400 (税別)

### 『さわってもいい？』

はまのゆか／著 佐々木裕子／監修 めくるむ ¥1,800 (税別)

### 『ちいさな木』

角野栄子／作 佐竹美保／絵 偕成社 ¥1,300 (税別)

### 『つきはかがやく』

パトリシア・ヘガティ／文 ブリッタ・テッケントラップ／絵 木坂涼／訳 ひさかたチャイルド ¥1,800 (税別)

### 『どこどこ？ねどこ』

juno／さく 福音館書店 ¥800 (税別)

### 『どすこいみいちゃんパン屋さん』

町田尚子／作 ほるぶ出版 ¥1,500 (税別)

### 『とってもすてきなうちです』

なががわちひろ／文 高橋和枝／絵 アリス館 ¥1,500 (税別)

### 『どんぐりどんぐり』

降矢なな／さく 福音館書店 ¥900 (税別)

### 『ねぞうプロレス』

ひらぎみつえ／作・絵 教育画劇 ¥1,200 (税別)

### 『へんしん！』

北村直子／作 こぐま社 ¥950 (税別)

### 『もりのおへやをしょうかします』

茂市久美子／作 しもかわらゆみ／絵 講談社 ¥1,500 (税別)

### 『ゆきのひ』

サム・アッシャー／作・絵 吉上恭太／訳 徳間書店 ¥1,700 (税別)